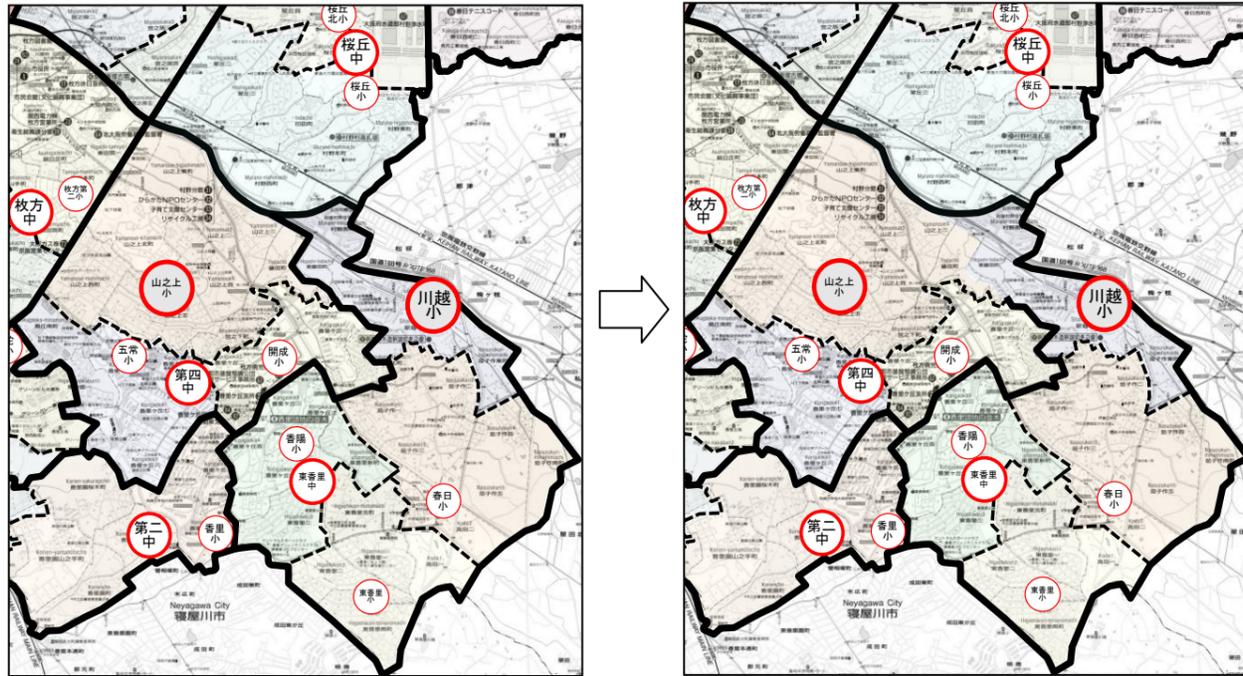


★ (方策番号) 南部 C

(1) 川越小学校

- 山之上小学校と新設統合する。  
ア. 山之上小学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計  
(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
川越小	学級数 (CL)	12 (2)	12	11	10	9	9	8	10	6	6	6	6
	児童数 (人)	312 (9)	298	271	250	231	224	206	228	209	190	164	136
山之上小	学級数 (CL)	18 (4)	18	17	17	18	18	18	16	18	12	12	12
	児童数 (人)	552 (27)	565	544	510	512	513	526	489	461	414	384	350

(統合後の推計)

		H27	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校	学級数 (CL)	26 (5)	24	24	23	22	22	22	18	18	18
	児童数 (人)	864 (36)	760	743	737	732	717	670	604	548	486

(2) 住宅開発等の情報

- ・川越小学校区は、一部に農地は存在するものの、ほとんどが既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。
- ・山之上小学校区は、校区のほとんどが既存の住宅地であり、児童数を著しく増加するほどの大規模住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

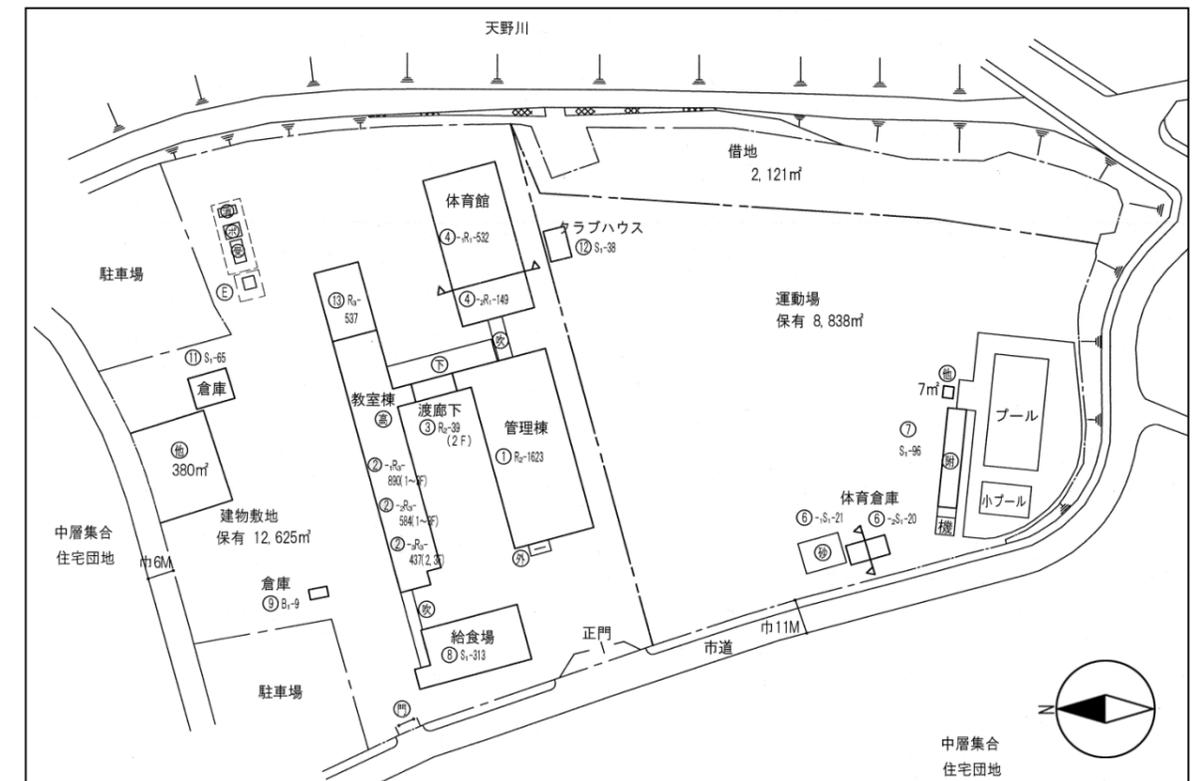
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
川越小学校	12,625 m <sup>2</sup>	10,959 m <sup>2</sup>	—	23,584 m <sup>2</sup>	法敷なし。ほぼ整形。 借地 2,121 m <sup>2</sup> (大阪府：無償)
山之上小学校	8,823 m <sup>2</sup>	10,702 m <sup>2</sup>	—	19,525 m <sup>2</sup>	一部法敷あり。 不整形。

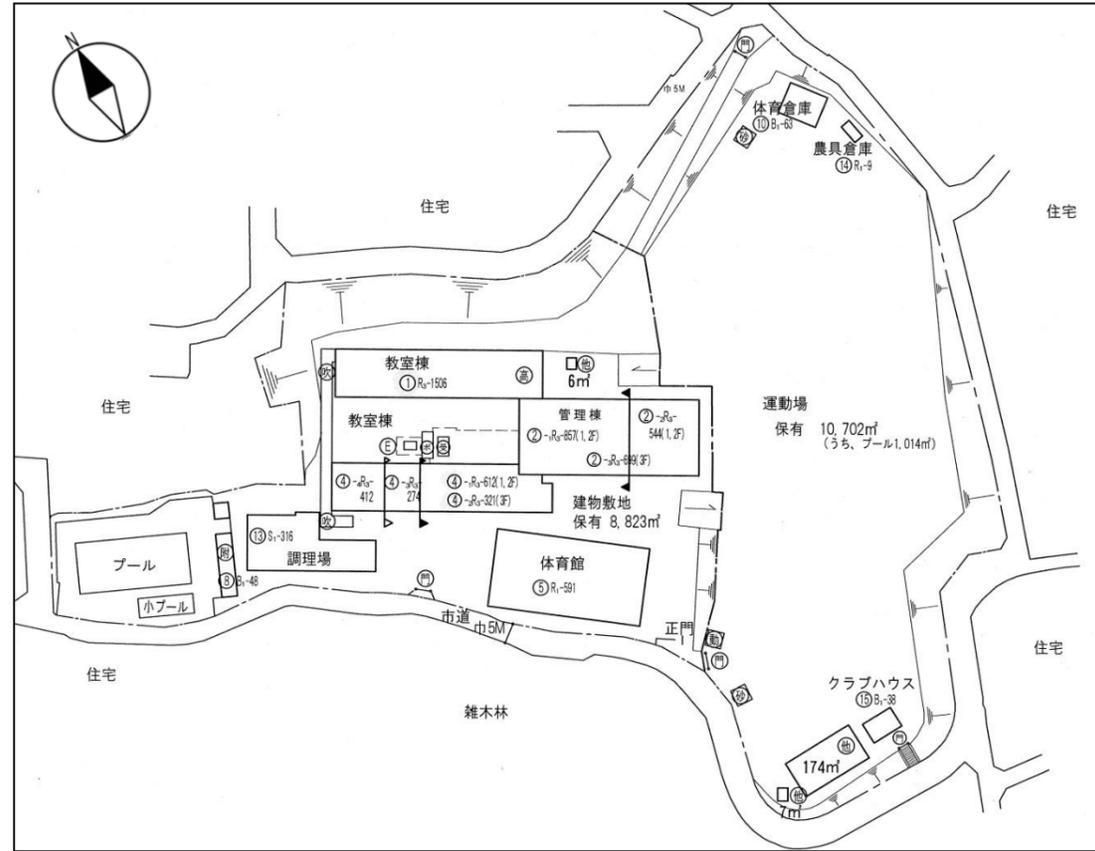
\* 小学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大児童数 (760人)	7,200 m <sup>2</sup> (*721人以上=7,200 m <sup>2</sup> )
---------------------	--

(川越小学校 配置図)



(山之上小学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積
川越小学校	校舎(保有教室数:20教室)					4,071
	管理棟	1	R	2	S52.3.1	1,623
	教室棟	2	R	3	S52.3.1	1,911
	教室棟	13	R	3	S57.3.1	537
	体育館	4	R	1	S52.3.1	681
	その他					288
山之上小学校	校舎(保有教室数:28教室)					5,225
	教室棟	1	R	3	S44.3.1	1,506
	管理棟	2	R	3	S44.3.1	2,100
	教室棟	4	R	3	S46.1.1	1,619
	体育館	5	R	1	S46.2.1	591
	その他					158

\* 小学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大児童数 (760人)	3,540 m <sup>2</sup> (*2,700 m <sup>2</sup> + 3 m <sup>2</sup> × (760人 - 480人))
---------------------	---

\* その他 留守家庭児童会室の状況

学校名	定員 (H27.4.1 現在児童数)	余裕教室使用状況	専用施設床面積 (m <sup>2</sup> )
川越小学校	50 (48)	—	168.39
山之上小学校	131 (91)	1 教室	127.85

(3) 施設整備の予定

(川越小学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後30年以上)

(山之上小学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後40年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校
	ア 山之上小学校敷地に設置
最大時における必要教室数	36 教室 (通常学級 24CL + 支援学級 5CL + 多目的室等 7 教室)
パーティーション対応時	33 教室 (通常学級 24CL + 支援学級 4 教室 + 多目的室等 5 教室)
不足数 (パーティーション対応時)	8 教室 (5 教室)
増築等の方法	増築スペースなし

### 3. 通学区域

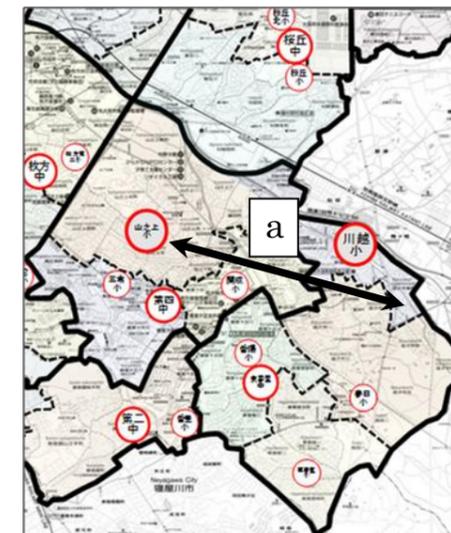
(1) 最長通学距離

(現行)

学校名	最長地域	距離
川越小学校	村野南町3番付近	約1.2km
山之上小学校	藤田町11番付近	約1.5km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距離
ア 山之上小学校敷地に設置	茄子作東町26番付近 …… a	約3.1km



(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 山之上小学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	春日小学校区、開成小学校区を通過して通学する地域がある。
地形地物による 地域分断の有無	府道枚方交野寝屋川線、市道中振交野線、市道枚方高田線、天野川あり。
校区における 学校の位置	東西方向の西側、南北方向のやや南に位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 3.1km 南北方向 1.5km で、不整形
その他	—

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 山之上小学校敷地に設置
進学中学校	東香里中学校（川越小学校区） 第四中学校（山之上小学校区）
「一小一中の」 接続関係の確保	統合は、中学校区を跨ぐため「一小一中」の接続関係とならない。なお、「一小一中」とするため中学校区をすべて第四中校区にする場合、現行に比べ通学距離が長くなる区域（茄子作東町等）が発生する。
中学校区を変更 する場合における 中学校の学校規模	○第四中学校区とした場合 ・第四中：大規模校（平成 31 年度 26CL。最大学級数 26 CL） ※平成 33 年度から適正規模 ・東香里中：適正規模（平成 31 年度 17CL。最小学級数 12CL）
小中一貫校（一体型） の設置可能性	なし。
統合後中学校区にお ける最長通学距離	第四中：茄子作東町 26 番付近…約 2.6km
通学支援策等	—

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし

(2) 学校の沿革等

	川越小学校	山之上小学校
設置年月	・昭和 52 年 春日小、山之上小から 分離開校	・昭和 44 年 枚方第二小、開成小、五 常小から分離開校
沿革等	・平成 12 年 村野小の一部を統合	・昭和 52 年 川越小に一部分離